

請 願 文 書 表

(総合企画局)

受 理 番 号	3 9 8	受 理 年 月 日	令 和 8 年 5 月 25 日
件 名	北陸新幹線延伸計画に係る住民説明会開催の要請等		
要 旨	<p>2023年7月、北陸新幹線延伸のためのボーリング調査が右京区鳴滝松本町で行われたことで、宇多野学区住民が機構に住民説明会を求める要望書を提出したが、機構からは住民説明会を拒否する旨の回答が返ってきた。2024年8月には、北陸新幹線詳細駅位置・ルート図(案)で調査箇所鳴滝松本町に立坑が建設されることなどが明らかになった。</p> <p>さらに、2025年3月25日の自治体職員対象説明会では、詳細な立坑建設位置などが公表されている。</p> <p>該当地域の住民は、住民説明会が拒否され、知る権利を奪われたまま、ますます不安が増大している。</p> <p>第一に、立坑予定地の周辺住民は騒音・振動をはじめとする影響が多大であると考えられる。</p> <p>第二に、立坑掘削の土砂運搬路に使用するとした国道162号線は、道路幅や歩道も狭く、土砂搬出ダンプなどが頻繁に通れば、今以上に危険な状況になる。特に渋滞が引き起こす危険性は、以前から問題視され、地域の要求として京都市に改善を求めて現在に至っている課題である。</p> <p>第三に、福王子交差点は、事故につながる混雑・渋滞箇所である(国土交通省の交通センサスは、福王子交差点を主要渋滞箇所として渋滞緩和の手立てをしよう指摘している)。当該地及び周辺は、通学路、生活道路であり、この事業により工事車両が増えることは住民にとっては死活問題である。</p> <p>また、公表されたルートの一つには、世界文化遺産仁和寺の西、古墳群である双ヶ岡の真下、JR花園駅を縦断するコースがある。2025年6月6日、京都市会で可決された、京都市内大深度トンネルルートに反対する決議において指摘されているように、私たちは、交通渋滞による生活破壊に加えて、地下水への影響や、残土処理、文化的建造物への影響、さらに、住宅街での陥没やシールドマシン事故による影響も懸念している。</p> <p>については、以上のように、現行ルート案は住民生活を脅かし、懸念される課題が多大であると考え、京都市会が慎重かつ丁寧な説明を国に求める決議を同時に可決していることも加えて、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市は、住民生活を守る立場から、住民が求めている事業への説明会を開催するよう、機構と国に強く求めること。 2 京都市は、住民生活を守る立場から、住宅地周辺に立坑を建設し、大深度トンネルで市街地を縦断し、住民に多大な影響を与える小浜・京都ルート計画を受け入れないこと。 		
請 願 者			
紹 介 議 員	井崎 敦子、えもとかよこ、山本 陽子、くらた共子、山田こうじ		
付 託 委 員 会	総務消防委員会		